



# 成隣だより

平成30年 2月28日

第11号

昭島市立成隣小学校

校長 加賀田 真理

## 「成隣」の名のもとに

校長 加賀田 真理

今年度も残りわずかとなりました。子供たちは、今年度のよい締めくくりを迎えられるよう、学年のまとめに熱心に取り組んでいます。今年度も、保護者・地域の皆様から多くのご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

成隣小学校は、

・・・大神村の中村半左衛門氏邸に設けられた私塾「執中舎」に始まり、明治5年8月、小学校の学制発布と共に公立学校設置の議起こる。

明治6年5月 大神村観音寺を借り校舎に充て、執中学舎として発足する。中神村福巖寺に分校をつくる。

明治6年7月 執中学舎より中神村福巖寺に分校設置、校名を共明学校と称す。

明治9年3月 執中、共明の二校合同し宮沢阿弥陀寺を以て、仮校舎に充て成隣学校と称す。校名の命名は学校后見職 窪素堂先生の「一石を池水に投ずれば、即ち波紋が拡がる。此の地、今一校を成す。教化必ず四隣に及ばん。」より成隣となる。

【「創立百周年記念」(昭和48年10月)より】

という起源をもつ伝統のある学校です。今年度の卒業生60名を加えると歴代卒業生の総数は、7360名にも及びます。

本校の校名は「学校の在り方」や「理念」が織り込まれていることが、大きな特色のひとつだと思います。学制発布の際には、当時の貴重な労働力であった子供たちを学校に通わせることに対する反対運動が、日本の様々な地域で起こったという記録がありますが、この地域では学校設立の時から、高い理念を掲げ、学校を地域の中心として発展させていこうとする気概があったことに畏敬の念をおぼえ、「成隣小学校」という校名を誇りに感じています。

本校の校長に着任以来、市内どこの地域行事に参加しても私が成隣小の校長だとわかる。「私も成隣小の出身です！」とにこにこされながら話しかけてくださる方が大勢いらっしゃいます。本当に今も保護者や地域の方々に愛され続けている、すてきな学校なのだと日々実感しています。

これからも子供たちの今の姿を見つめ、一歩ずつ教育活動に取り組み、この学校から「波紋を広げていく」ことに取り組んでまいります。

4月からも「成隣」の名のもとに、145年目の教育活動が始まります。連綿と引き継がれてきた伝統を受け継ぎ、保護者や地域の方々から愛されている思いを受け止めながら、今の時代にふさわしい新たな教育活動に取り組んでまいります。

来年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。